

2 お互いが尊敬し支えあう 明るいまちづくり

[SDGsによる目標] 福祉分野



年齢や障がいのあるなしにかかわらず、互いを認め合い、支え合える社会の実現を目指し、関係機関や団体、地域住民との協働のもと、地域福祉の充実に努めます。

地域コミュニティの推進・ 地域自治の体制確立

市内には約230の自治会・町内会があり、自治会・町内会活動をはじめ、祭りや伝統芸能等の地域行事、環境美化活動といった地域活動に参加したいと考えている市民の割合は8割を超え、市民意識の高さが本市の特長となっています。しかし、人口減少が進み、地域コミュニティの核として自治会・町内会の役割は益々大きくなる一方で、高齢化や核家族化、生活様式の多様化等から自治会・町内

会の加入率の減少や担い手不足により、存続が危ぶまれる団体も出ています。自治会・町内会と行政が、地域コミュニティの実態を認識し、自治会・町内会にとどまらず、ボランティアやNPOといった団体についても地域コミュニティの担い手として支援していきます。

- ◆ 主な取り組み
- ◆ 地域と行政との協働の推進
- ◆ 地域活動の推進



地域福祉の充実

近年、社会情勢が大きく変化し、少子高齢化や核家族化が進み、地域コミュニティのつながりが希薄になる中、市民が安全で安心な暮らしを送ることができるよう、地域住民や行政、社会福祉関係者が相互に協力し、複雑化、複合化する様々な福祉課題の解決に重層的に取り組む必要性が高まってきています。

- ◆ 福祉に対するニーズも多様化する中、民生児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体等と連携を図りながら、一人ひとりが生きがいを持って地域と共に作っていく「地域共生社会」の実現に向けて地域福祉の在り方を検討し、課題解決に取り組んでいきます。
- ◆ 主な取り組み
- ◆ 地域福祉の在り方検討
- ◆ 生活困窮者の自立支援
- ◆ 民生児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体との連携促進
- ◆ 成年後見制度の利用促進

高齢者福祉の充実

市の高齢化率は県平均を上回り、ここ数年は毎年約1パーセントずつ上昇し、令和4年には45.1パーセント、さらに令和22年には約52パーセントになることが見込まれています。介護や支援を必要とする高齢者や認知症の方も増加しており、高齢になってもいつまでも住み慣れた地域で安心して生

活し続けられるよう、地域包括ケアシステムを機能強化し、要介護状態にならないための予防的取り組みや、在宅医療・介護サービスを一体的に提供していきます。

- ◆ 主な取り組み
- ◆ 高齢者の社会参加、健康づくり、介護予防への支援
- ◆ 地域包括ケアシステムの維持、機能強化
- ◆ 在宅生活支援
- ◆ 高齢者福祉施設の整備、見直し

障がい者福祉の充実

障がいのある人もない人も共に住み慣れた地域で暮らしていけるように、障がいのある人とその家族の抱える課題を把握し、適切な情報提供や支援の充実を図っていきます。

- ◆ 主な取り組み
- ◆ 自立支援サービス（地域移行・就労支援）の促進
- ◆ 障がい児サービスの促進
- ◆ 施設のバリアフリー化

